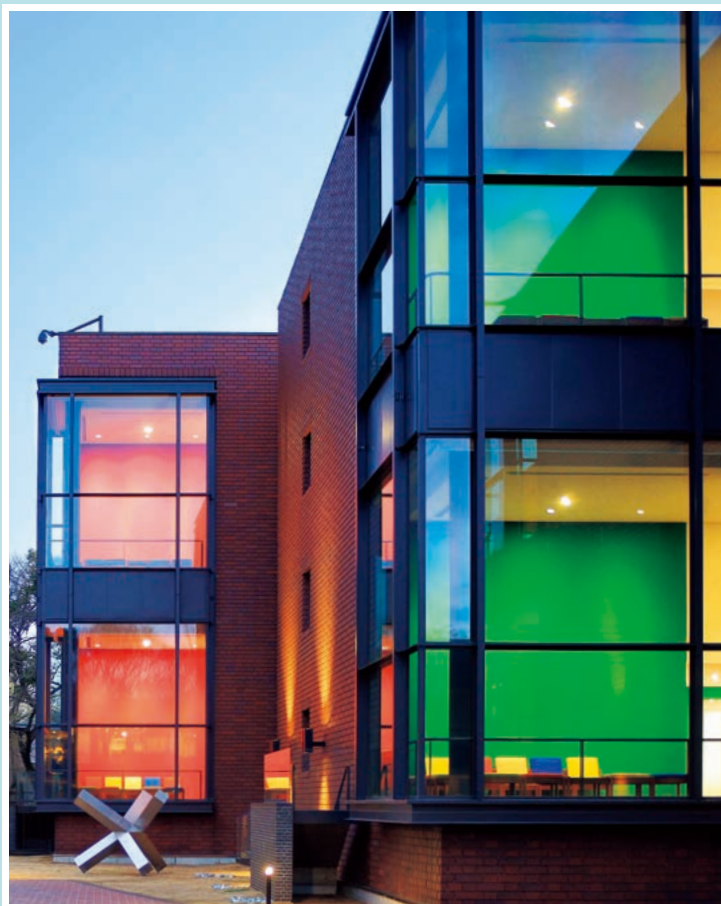


日 本 語

TOKYO METROPOLITAN ART MUSEUM

東京都美術館

「日本語」



ご案内／展覧会

2023.7 ~ 2024.6



東京都美術館
TOKYO METROPOLITAN ART MUSEUM



東京都美術館の使命

東京都美術館は、展覧会を鑑賞する、子供たちが訪れる、
芸術家の卵が初めて出品する、障害のある方が何のためらいもなく来館できる——、
すべての人に開かれた「アートへの入口」となることを目指します。

新しい価値観に触れ、自己を見つめ、世界との絆が深まる「創造と共生の場＝アート・コミュニティ」を築き、
「生きる糧としてのアート」と出会う場とします。

そして、人びとの「心のゆたかさの拠り所」となることを目指して活動していきます。

東京都美術館の歩み



1926(大正15)年 ▶ 東京府美術館の創設

実業家・佐藤慶太郎から、当時の金額で100万円(現在の40億円相当)の寄付を受け、日本初の公立美術館として、1926年5月1日に開館。美術団体等による新作発表のほか、美術作家の回顧展や国内外の名品を紹介する展覧会を開催し、「美術の殿堂」として広く美術の魅力を伝える役割を担いました。

※1943(昭和18)年の都制施行に伴い、「東京都美術館」に名称変更

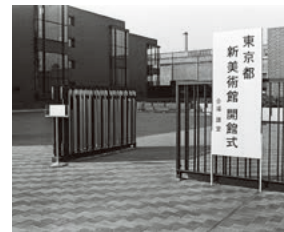
佐藤慶太郎(さとう・けいたろう)

1868(明治元)年 - 1940(昭和15)年。北九州市生まれ。「石炭の神様」と称された実業家。アメリカの鉄鋼王アンドリュース・カーネギーの慈善活動に共感し、東京府美術館の建設のほか、奨学金の創設や病院への寄付、国民生活改善運動の研究など、公共のために私財を投じました。



1975(昭和50)年 ▶ 新館の開館

旧美術館が手狭となり老朽化したため、前川國男の設計による新しい美術館を建設。生まれ変わった「東京都美術館」は、学芸員による企画展や作品収集にも力を注ぎ、本格的な美術館として活動を開始。今日のワークショップの源流となる教育普及活動をはじめ、一般に開放される美術図書室など、公立美術館の運営のさきがけとして活動しました。1995(平成7)年、東京都現代美術館の開館にともない、約3千点の収蔵作品と約5万冊の美術図書資料を移管しました。



2012(平成24)年 ▶ リニューアルオープン

多くの人々に親しまれた前川建築を受け継ぎつつ、ユニバーサルデザインを採り入れ、レストランやショップなども充実させる大規模な改修工事を実施。新たな企画展やアート・コミュニケーション事業を開始するなど、美術館としての魅力をより一層向上させる方針のもと、2012年4月1日に「新生・東京都美術館」として再出発しました。



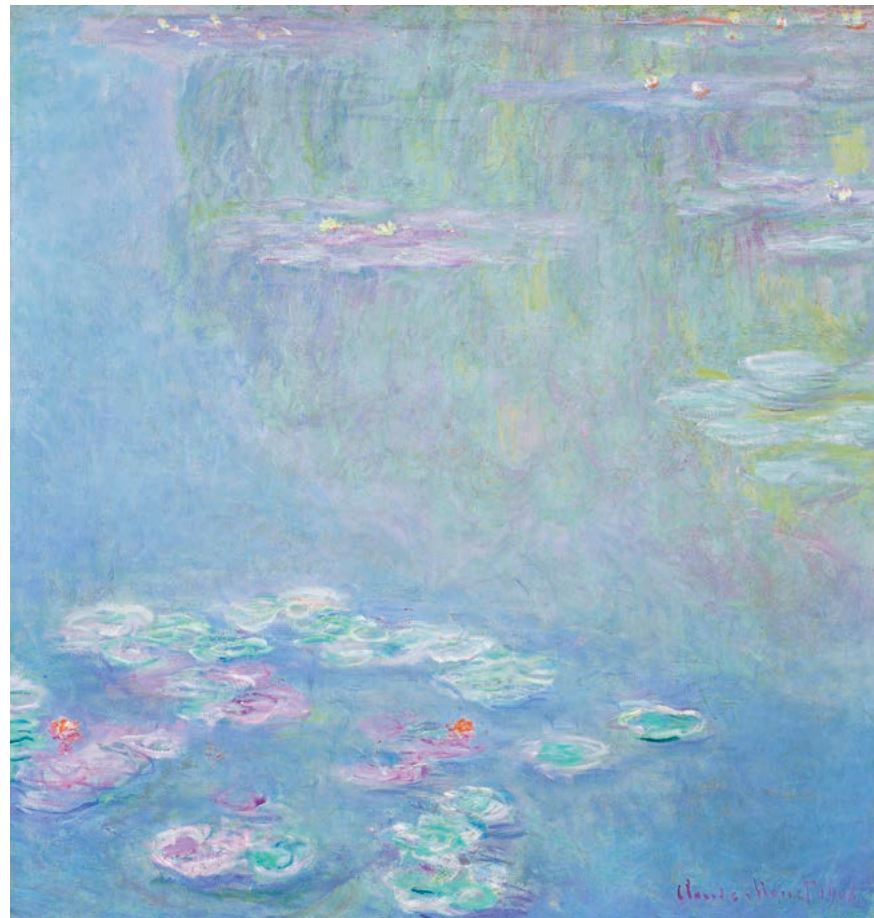
荒木珠奈《Una marcha de los esqueletos(ガイコツの行進)》2004年 作家蔵

うえののそこから「はじまり、はじまり」

荒木珠奈 展

From the depths of Ueno, a story begins—Tamana Araki

2023年7月22日(土)～10月9日(月・祝)



クロード・モネ《睡蓮》1908年 ウスター美術館

Museum Purchase, 1910.26 / Image courtesy of the Worcester Art Museum

印象派 モネからアメリカへ ウスター美術館所蔵

Frontiers of Impressionism: Paintings from the Worcester Art Museum

2024年1月27日(土)～4月7日(日)

マティス展

Henri Matisse: The Path to Color

2023年4月27日(木)～8月20日(日)

20世紀を代表するフランスの巨匠、アンリ・マティス(1869-1954年)。モダン・アートの誕生に決定的な役割を果たした画家の各時代の代表的な作品によって、その豊かな光と色に満ちた造形的な冒険を辿ります。

アンリ・マティス《赤の大きな室内》1948年 ボンビドゥー・センター／国立近代美術館
Centre Pompidou, Paris, Musée national d'art moderne-Centre de création industrielle



永遠の都ローマ展

Rome, the Eternal City: Masterpieces from the Capitoline Museums' Collection

2023年9月16日(土)～
12月10日(日)

栄えある歴史と比類なき文化を誇る永遠の都ローマ。カピトリノ美術館の所蔵品を中心とする約70点の作品を通して、建国から古代の栄光、教皇たちの時代から近代まで、2000年の歴史と芸術を紹介します。

《カピトリノの牝狼(複製)》ローマ市庁舎蔵
©Roma, Sovrintendenza Capitolina ai Beni Culturali /
Archivio Fotografico dei Musei Capitolini



うえののそこから「はじまり、はじまり」 荒木珠奈 展

From the depths of Ueno, a story begins—Tamana Araki

2023年7月22日(土)～10月9日(月・祝)

こどもから大人まで楽しめる、ちょっと怖くて懐かしい展覧会の「はじまり、はじまり」! 90年代から多様な表現が続けている荒木珠奈の旧作から「上野の記憶」に着想を得た新作までを紹介します。日常と非日常を行き来する鑑賞体験を通じて、日々の暮らしを見つめ直します。

荒木珠奈《Caos poetico(詩的な混沌)》2005年 東京都現代美術館蔵
Photo: Hiro Ihara



上野アーティストプロジェクト2023 いのちをうつす ―菌類、植物、動物、人間

Ueno Artist Project 2023:
Picturing and Touching the Lives of Others — Fungi, Plants, Animals and Humans

2023年11月16日(木)～2024年1月8日(月・祝)

キノコを描く小林路子、草花を日々描き続けた辻永、バードカービング界を牽引する内山春雄、サラブレッドを写した今井壽恵、ウシを木版画に刻む富田美穂、ゴリラを描く阿部知暁。特定のいきものを追いかけて、「うつし」続けてきた6名のつくり手たちに注目します。

阿部知暁《スノーフレーク》2000年 作家蔵



動物園にて ―東京都コレクションを中心に

At the Zoo — From the Tokyo Metropolitan Collection and Other Collections

2023年11月16日(木)～

2024年1月8日(月・祝)

上野動物園という日本最古の「動物園」に焦点を当てながら、東京都立の美術館・博物館、またその他の施設や個人等が保管する、「動物園」に関わる資料を展示し、近代以降の「動物園」という空間における、人間と動物との関わり合いの様相をたどります。



井上安治《上野動物園》明治前期 東京都江戸東京博物館蔵

印象派 モネからアメリカへ ウスター美術館所蔵

Frontiers of Impressionism: Paintings from the Worcester Art Museum



2024年1月27日(土)～4月7日(日)

アメリカのウスター美術館のコレクションを中心に、モネやルノワールに代表されるフランス印象派や、ハッサムらアメリカの印象派の作品を紹介し、国境を越えて広がった印象派の受容と展開をたどります。

チャイルド・ハッサム《花摘み、フランス式庭園にて》1888年 ウスター美術館
Theodore T. and Mary G. Ellis Collection, 1940.87 / Image courtesy of the Worcester Art Museum

特別展

公募団体展・学校教育展

開館以来、美術や書などの公募団体に、作品発表の場を提供しており、現在は年間約260団体が「つくる喜びを共有する場」としてさまざまなジャンルの展覧会を行っています。また、美術系の高校や大学の卒業制作展や、児童生徒の作品展も数多く開かれています。

収蔵品の紹介

東京都美術館では、野外彫刻等の立体作品13点と書作品36点を収蔵しています。



青山杉雨《車馬騒々》



建畠覚造《さ傘(天の点滴をこの盃に)》1973年



最上壽之《ヒロハニホトリヌルワフカヨタレソツネ……ン》1979年



井上武吉《my sky hole 85-2 光と影》1985年

カレンダー

■ 全館休館日 → 第1、第3月曜日(祝日・振替休日の場合は翌日)、整備休館、年末年始
 ■ 特別展・企画展示室日 → 月曜日(祝日・振替休日の場合は翌日)
 ■ 夜間開館日 → 9:30-20:00(入館は閉館30分前まで)

[illegible][illegible][illegible][illegible]

2023	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
11 NOV							永遠の都ローマ展 9月16日(土)～12月10日(日)																							
														いのちをうつす 一菌類、植物、動物、人間																
														動物園にて 11月16日(木)～2024年1月8日(月・祝)																

[illegible][illegible][illegible][illegible][illegible]

2024	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31			
5 MAY															特別展																			

[illegible]

※最新の情報は、東京都美術館ウェブサイトをご覧ください。

アート・コミュニケーション事業

アートを媒介として、人々のつながりをはぐむ活動をしています。

美術館が作品を鑑賞する場にとどまらず、鑑賞を「体験」として、より深める場所になるように、さまざまなプログラムを実施しています。



東京都美術館 × 東京藝術大学
とびらプロジェクト



東京都美術館と東京藝術大学、一般公募のアート・コミュニケーター(とびラー)が協働して行っている「ソーシャル・デザイン・プロジェクト」です。美術館を拠点に人と作品、人と人、人と場所をつなぎ、さまざまな価値観を持つ多様な人々を結びつけるコミュニティのデザインに取り組んでいます。

museum start
あいうえの
since 2015



上野公園に集まる9つの文化施設が連携し、子どもたちの“ミュージアム・デビュー”を応援。子どもと大人がフラットに学びあえる環境を創造する「ラーニング・デザイン・プロジェクト」です。年間を通じて、小・中・高校生がミュージアムを活用することを目的としたプログラムを行っています。



東京都美術館は、こどもから高齢の方まで、歳を重ねてからも「ずっと」通いたくなる美術館でありたいと考え、超高齢社会に対応する事業を始めました。歳を重ねる中で、作品と人がクリエイティブに出会える参加型のプログラムなどを作っていきます。

美術館を楽しもう！

前川國男、70歳の時の設計。上野公園の森に溶け込むように設計され、建物の約60%は地下に埋められています。そのため、正門から正面玄関は見えませんが、直線ではないアプローチや、機能ごとに分けられた建物、少しずつずらして配置された公募展示室など、ひとつの建築の中に、都市的な要素を取り入れた空間構成が特徴。ぱっと目を引く外壁は、一見レンガ造りのように見えますが、タイルでできていることも特徴のひとつです。

建築家 前川國男(まえかわ・くにお)



撮影：廣田治雄

1905(明治37)年新潟市生まれ。1928(昭和3)年に東京帝国大学工学部建築学科を卒業・渡仏し、巨匠ル・コルビュジエのアトリエで学びました。帰国後、日本を代表する建築物を数多く手がけ、日本の近代建築史に大きな足跡を残しました。

とびラーによる建築ツアー



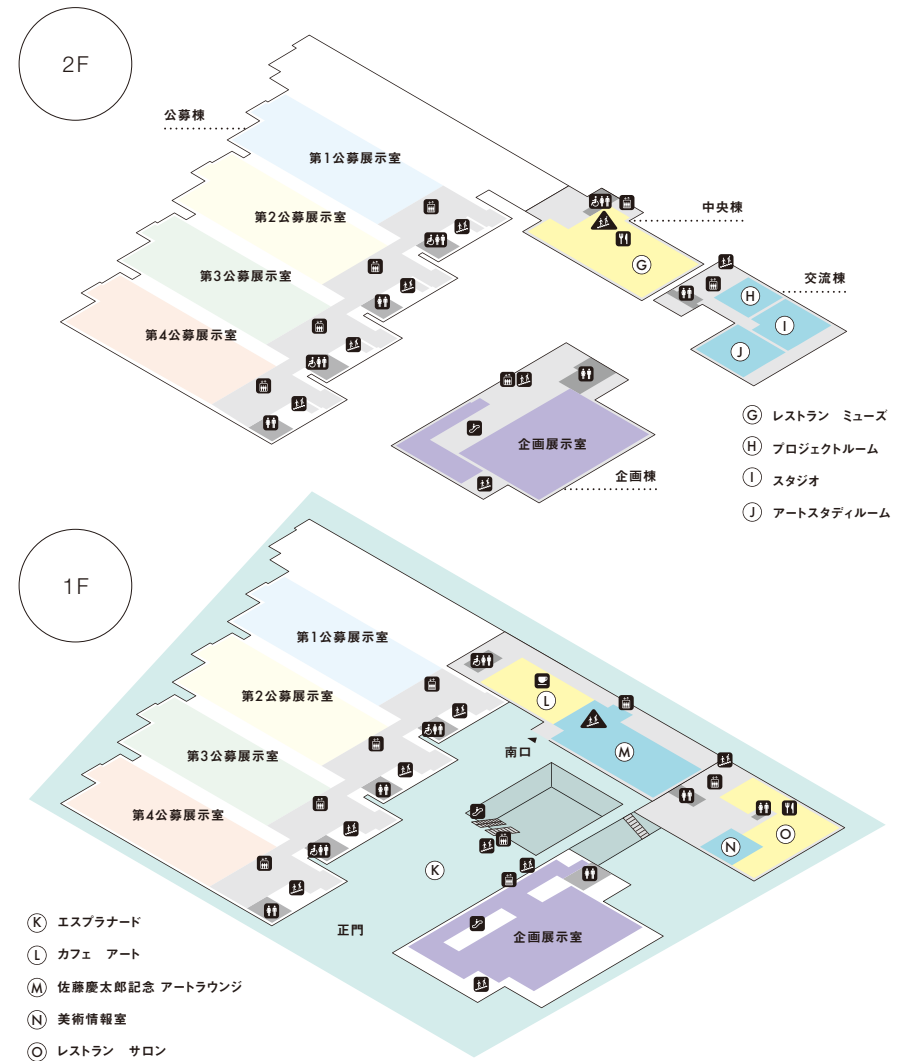
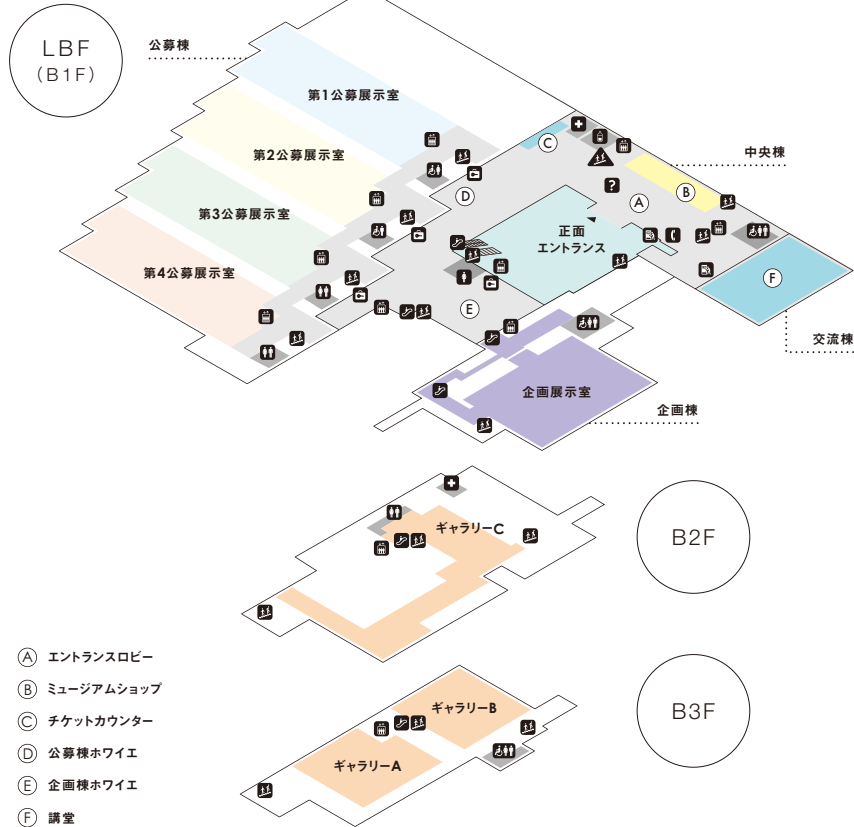
「建物そのものも楽しんでほしい」と、館内を散策。ガイドを務めるアート・コミュニケーターの個性が光ります！

※原則として奇数月第3土曜日に開催。



館内のご案内

- | | | |
|-----|-----------|---------|
| ? | インフォメーション | エレベーター |
| ♂ ♀ | トイレ | エスカレーター |
| ♿ | 車椅子用トイレ | 階段 |
| 👜 | ロッカー | カフェ |
| 🏥 | 救護室 | レストラン |
| 👶 | 授乳室 | 自動販売機 |
| | | 公衆電話 |



館内施設のご案内

アメニティ事業

ミュージアムショップ

オリジナルグッズや伝統工芸品など、日々を彩るアイテムをご提供するショップです。

面積：127㎡／Tel. 03-5685-9110



中央棟LBF(B1F)

RESTAURANT salon (レストラン サロン)

本格フレンチダイニングをご提供。席の予約ができ、個室のご用意もあります。

面積：249㎡／席数：50席／Tel. 03-5832-5101



交流棟1F

RESTAURANT MUSE (レストラン ミュース)

洋食を中心に和食、キッズメニューも。お気軽にご利用いただけるカジュアルレストラン。

面積：481㎡／席数：200席／Tel. 03-5832-5551



中央棟2F

cafe Art (カフェ アート)

コーヒーやスイーツ、軽食をご用意。アートの合間にほっとひと息。

面積：103㎡／席数：50席／Tel. 03-5832-5566



中央棟1F

貸出施設

講堂

講演会やシンポジウム、授賞式などが行えます。

面積：284㎡、舞台30㎡／定員：230名
(固定椅子225席+車椅子用スペース5席)



交流棟LBF(B1F)

佐藤慶太郎記念 アートラウンジ

北欧デザインの椅子に座ってゆっくりご休憩できるラウンジです。

面積：391㎡／席数：46席



中央棟1F

美術情報室

美術図書・図録・雑誌などをゆっくり閲覧できるライブラリー。

面積：88㎡／席数：14席／蔵書冊数：約6万点



交流棟1F

スタジオ

会議や制作などを行う多目的室です。

面積：146㎡／定員：50名



交流棟2F

アクセシビリティ

車いすをご利用の方へ

館内でご利用いただける車いすの貸出をしています。車いす対応トイレも各フロアにあります。

車いす：28台(自走介助兼用)／無料



インフォメーションにて貸出

だれでもトイレ

大人が横たわれるサイズの介助用ベッドやオストメイト対応を備えた多機能トイレがあります。



インフォメーションにてご案内

小さなお子さま連れの方へ

個室スペースのある授乳室をはじめ、ベビーカー貸出やミルク用お湯のサービスもあります。

ベビーカー：5台(対象月齢1〜48か月)／無料



インフォメーションにてご案内

コミュニケーション

インフォメーションでは、簡易筆談器やコミュニケーションボードをご用意しています。日本語、英語、中国語に対応しています。



インフォメーションにてご案内

ご利用案内

【開館時間】 9:30〜17:30

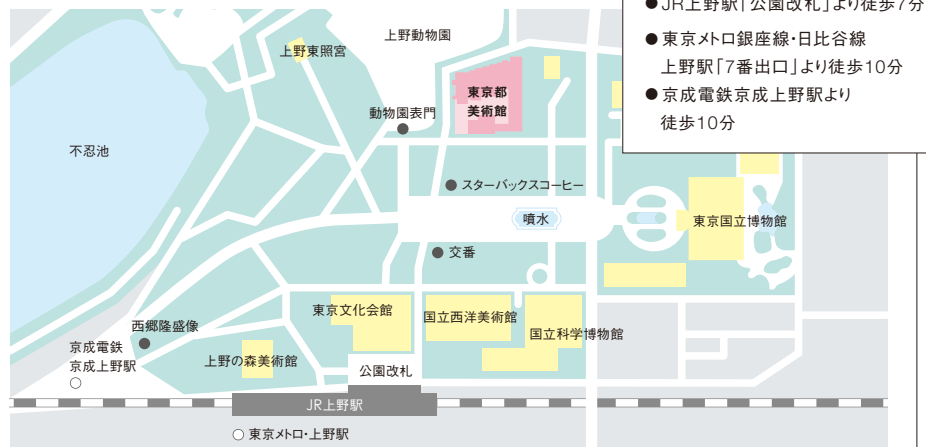
※特別展開催中の金曜日は9:30〜20:00 ※いずれも入館は閉館時間の30分前まで

【休室日】 特別展・企画展：月曜日(祝日・振替休日の場合は翌日)

上記以外の展覧会：第1、第3月曜日(祝日・振替休日の場合は翌日)

【全館休館日】 第1、第3月曜日(祝日・振替休日の場合は翌日)／年末年始、整備休日

【入館料】 無料。観覧料は展覧会ごとに異なります



- JR上野駅「公園改札」より徒歩7分
- 東京メトロ銀座線・日比谷線
上野駅「7番出口」より徒歩10分
- 京成電鉄京成上野駅より
徒歩10分

※駐車場はございませんので、車での来館はご注意ください。

施設概要

○敷地面積：16,638.84㎡ ●建築面積：7,999.47㎡ ●延床面積：37,748.81㎡

【企画展示室】 ●LBF(B1F)：709㎡ ●1F：713㎡ ●2F：714㎡ ※天井高4.5m

【公募展示室】 ●LBF(B1F) 第1・第2・第3・第4：3,040㎡ ●1F 第1・第2・第3・第4：3,040㎡ ●2F 第1・第2・第3・第4：3,040㎡ ※全12室、天井高4.8m

【ギャラリー】 ●A(B3F)：412㎡、天井高9.9m ●B(B3F)：303㎡、天井高3m ●C(B2F)：470㎡、天井高2.4m／5.8m



〒110-0007 東京都台東区上野公園8-36

Tel. 03-3823-6921 / Fax. 03-3823-6920

【ウェブサイト】 <https://www.tobikan.jp>

【Twitter】 [tobikan_jp](https://twitter.com/tobikan_jp) / [tobikan_en](https://twitter.com/tobikan_en)

【Facebook】 [TokyoMetropolitanArtMuseum](https://www.facebook.com/TokyoMetropolitanArtMuseum)

発行日：2023年7月28日

発行：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都美術館

デザイン：opportune design Inc.

印刷：望月印刷株式会社

© Tokyo Metropolitan Art Museum

最新情報は、当館ウェブサイトでご確認ください。



館発行の広報誌「東京都美術館ニュース」も是非ご覧ください。



東京都美術館

TOKYO
METROPOLITAN
ART
MUSEUM

ご案内／展覧会
2023.7～2024.6